

第2 実践事例

事例1 思考ツールやワークシートなどの活用を工夫し、学ぶ意欲を高めるガイダンスの事例

○学年 第5学年

○主な内容 内容「A家族・家庭生活」(1)「自分の成長と家族・家庭生活」ア

○事例のポイント

- ①思考ツールを活用し、話し合いを活性化させることで、気づきを促したり考えを深めたりする。
- ②「どのような家庭生活を送りたいか」について、児童が自ら考えるとともに、生活の営みに係る見方・考え方を問題解決の視点として気付かせ、よりよい家庭生活の実現に向けた意欲を高められるようにする。
- ③2学年間の学習内容や上級生の授業の様子などがまとめられた映像を、ガイダンスにおいて児童が視聴することにより、初めて学ぶ家庭科への期待や関心を効果的に高める。

1 題材名 「家庭科の学習を始めよう～ガイダンス～」 内容A(1)ア 第5学年

2 題材について

(1) 児童について (省略)

(2) 題材について

本題材は、「A家族・家庭生活」の(1)「自分の成長と家族・家庭生活」アに関する題材である。これまでの自分の生活を振り返るとともに、AからCまでの各内容の学習と関連させ、自分の成長を自覚することを通して、家庭生活と家族の大切さや、家庭生活が家族の協力によって工夫して営まれていることに気付くことをねらいとしている。A(1)は、第5学年の最初に履修し、ガイダンスとして2学年間の学習の見通しをもたせるとともに、生活の営みに係る見方・考え方を働かせることにも触れることとしている。

2学年間の学習を通して自分がどのように成長したいのか、何ができるようになりたいのか、どのように家庭生活を工夫したいのかなどを考え、「支えられている自分」から「できる自分」「家族の一員としての自分」へと成長する姿を展望し、2学年間の学びに見通しをもたせることで、初めて学ぶ家庭科の学習への意欲を高めていく。

また学期・学年の終わりや、学習の区切りの時期に、実践記録などから学習の成果を振り返ることを通して、自分の成長への気づきが段階的に深まるようにする。そして第6学年の終わりの学習においては、家庭生活をよりよくするための課題を中学校技術・家庭科（家庭分野）の学習内容と結び付けて捉えられるようにし、中学校への円滑な接続を図るよう配慮していく。

P122 指導計画
作成の留意事項(6)

(3) 指導について

指導に当たっては、思考ツールを活用して家庭の仕事を可視化し、話し合いを通して、自分の成長とそれを支えてくれている家族の大切さについて、気づきを深めることができるようする。さらに、上級生が家庭科の授業を通してできるようになったことや、授業の様子を、ICT端末を活用して視聴させることにより、2学年間の見通しをもてるようにする。

また、どのような家庭生活を送りたいかについて、児童自らが考えることにより、協力、健康・快適・安全、生活文化の大切さ、持続可能な社会の構築等などの視点に気付かせたり、それが家庭科で学習する内容と関わっていることや、よりよい生活の実現に向けて、日常生活の様々な問題をそれらを視点として解決することなどに気付くよう学習活動を工夫している。

このような活動を通して、自分の家庭生活や学校生活が円滑に営まれているのは、家族や周りの人が支えていてくれるおかげであるということに気付かせることで、家族に協力して生活を営もうとする態度を育てていきたい。

3 題材の目標

- (1) 自分の成長を自覚し、家庭生活と家族の大切さや家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付く。 〈知識及び技能〉
- (2) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、2学年間の学習に見通しをもち、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。 〈学びに向かう力、人間性等〉

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分の成長を自覚し、家庭生活と家族の大切さや家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付いている。		家族の一員として、生活をよりよくしようと、2学年間の学習に見通しをもち、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

5 題材の指導と評価の計画（2時間扱い）

- 〔1〕 自分の生活を見つめよう 1時間
 〔2〕 よりよい家庭生活を考えよう 1時間

小題材	時間	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
自分の生活を見つめよう	1	○自分の成長を自覚し、家庭生活と家族の大切さや家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付くとともに、2学年間の家庭科の学習に見通しをもち、意欲を高める。 ・自分の家庭生活を振り返り、できるようになったことを実感する。 ・家庭生活や家族について振り返る。 ・家庭科の学習内容を知る。	① 自分の成長を自覚し、家庭生活と家族の大切さや家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付いている。 （行動観察・ワークシート）		①家族の一員として、生活をよりよくしようと2学年間の学習に見通しをもち、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。（行動観察・ワークシート） ②家族の一員として、生活をよりよくしようと2学年間の学習に見通しをもち、課題の解決に向けて振り返って改善しようとしている。（行動観察・ワークシート） ③家族の一員として、生活をよりよくしようと2学年間の学習に見通しをもち、課題の解決に向けて生活を工夫し、実践しようとしている。（行動観察・ワークシート）
よりよい家庭生活を考えよう	2	○日常生活における様々な問題について、家庭や地域の人々との協力、健康・快適・安全、生活文化の大切さ、持続可能な社会の構築等を視点として考え、解決に向けて工夫し取り組もうとする。 ・「よりよい家庭生活」について話し合う。 ・「よりよい家庭生活」にするための大切な視点について考える。			

6-1 学習指導 (1/2)

(1) 目標

自分の成長を自覚し、家庭生活と家族の大切さや家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付くとともに、2学年間の家庭科の学習に見通しをもち、意欲を高める。

〈知識及び技能〉〈学びに向かう力、人間性等〉

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点 (・) 評価規準 (◇) 【評価の観点】(評価方法) 手立て (→)
5 3 25	<p>1 5年生から、家庭科の学習が始まることを確認する。 自分の成長を振り返る。</p> <p>2 本時の学習の見通しをもつ。 ・学習課題の把握</p> <p>3 家庭生活や家族について振り返る ①自分の周りで行われている家庭の仕事を付箋に書き出す。 ②思考ツールの座標軸に「今自分でできること・できないこと」「していること・していないこと」の視点で、付箋を分類する。 ③家庭生活や家族の存在、家族の関わりなどについて、考えたことをペアで話し合う。</p>	<p>・家庭科の学習にどのようなイメージをもっているか、問う。調理実習やミシンを使うことなどのイメージが想定される。 ・小学校入学時の写真を見て、4年生までの学習を振り返り、生活の中で自分ができるようになったことを思い出す。 ・なぜ自分でできることが増えたのか、これまでの家庭生活や家族の関わりについて疑問をもてるようにし、本時の学習意欲を高める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>学習課題 自分の生活を振り返って、家庭生活や、家族の関わりについて考え、これからの家庭科の学習につなげよう</p> </div> <p>・①では、家庭の仕事を「衣・食・住・その他」の視点で振り返り、書き出せるようにする。その際、家庭生活には様々な仕事があることを実感できるようにする。 ・②の学習活動を通して気付いたことや考えたことについて、ペアで互いに伝え合い、話し合うことで、③において思考を広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【思考を広げたり深めたりするポイント】</p> <p>◎これまでに、<u>自分でできるようになったことがある</u>ことに気付けるようにする。 ◎家庭の仕事は、<u>家族に支えられていることや、家族の協力によって営まれていること</u>などについて気付けるようにする。 ◎<u>家族のためにできるようになりたい気持ちが高まる</u>ようにする</p> </div> <p>・児童によって家族構成や家庭生活の状況が異なることから、各家庭のプライバシーを尊重し、十分配慮しながら学習活動を進める。</p>
7	<p>4 家庭科の学習内容について、映像を通して知る。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>事例のポイント① 思考ツールの活用：情報を整理・分類、比較をするために用いる。座標軸に表し、可視化することで、新しい気づきを引き出すことができる。学年末などに再度取り組み、自身の変容に気付くことができるよう活用を図ることが考えられる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>事例のポイント③ I C T 端末の効果的な活用：家庭科の大まかな学習内容（上級生の授業の様子や、製作した作品など）が分かるよう、映像にまとめておく。児童が視聴し、3の学習活動で高まった思いとつなげることで、家庭科への期待や関心が高められるようにする。</p> </div>

P122 指導計画作成の留意事項(3)



P122 指導計画作成の留意事項(2)

P122 指導計画作成の留意事項(1)

3	5 本時の学習のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで話し合ったことをまとめにつなげるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>(例) 家庭生活や家族は、自分の成長や家族の生活を支える大切な存在である。家庭生活は、家族で協力し合って成り立っている。家族の一員としてもっと役に立つ自分になれるように、これからの家庭科の授業で学びたい。</p> </div>
	<p>◇自分の成長を自覚し、家庭生活と家族の大切さや家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付くとともに2学年間の家庭科の学習に見通しをもち、意欲を高める。 【知識・技能】【主体的に学習に取り組む態度】(ワークシート・行動観察)</p>	
	<p>おおむね満足できる状況 (B)</p>	<p>自分の成長を自覚し、家庭生活と家族の大切さや家庭生活が家族の協力によって営まれていることへの気付き、及び家庭科の学習に対する意欲についてワークシートに記入している。</p> <p>→座標軸の内容を一緒に見返し、分かることを一緒に確認しながら、気付きを促したり、家庭科の学習への意欲を高める声かけを行う。</p>
2	6 振り返りをする。	

6-2 学習指導 (2/2)

(1) 目標

日常生活における様々な問題について、家庭や地域の人々との協力、健康・快適・安全、生活文化の大切さ、持続可能な社会の構築等を視点として考え、解決に向けて工夫し取り組もうとする。
(学びに向かう力、人間性等)

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点 (・) 評価規準 (◇) 【評価の観点】(評価方法) 手立て (→)
7	1 前時のまとめを振り返り、「よりよい家庭生活」について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・「よりよい家庭生活」とはどのような生活か、考えられることをいくつか挙げさせ、「よりよい家庭生活」にしていきたいという思いを、前時のまとめから引き出す。 ・「よりよい家庭生活」にするための視点について、一例から考えさせてみる。(例「おいしく食事ができる生活」: 食事は、ただ空腹を満たすためでなく、家族の好み(「快適」)や、一緒に食べること(「協力」)、または「健康」の視点から考えることが大切であることに気付かせる。)
3	2 本時の学習の見通しをもつ。 ・学習課題の把握	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>学習課題 「よりよい家庭生活」にするために大切なこと(視点)とはどのようなことだろう</p> </div>
5	3 自分が考える「よりよい家庭生活」について、付箋に書き出す。	<ul style="list-style-type: none"> ・「どのような家庭生活を送りたいか」「幸せな家庭生活とはどのような生活か」など、問いかけを工夫し、児童が「よりよい家庭生活」について主体的に考えられるようにする。
15	4 「よりよい家庭生活にするために大切な視点」をグ	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の付箋を持ち寄り、「よりよい家庭生活」にするために、どのようにすればよいかについて、少人数のグループで意見を交流し、視点としてまとめることができるようにする。

事例のポイント②

“日常生活の問題は家族が解決してくれる”と思っていた児童が、「よりよい家庭生活」について主体的に考えられるようにする。

	<p>ループで考え、まとめる。</p> <p>P122 指導計画作成の留意事項(2)</p>	<p>【児童の考えとして予想される「よりよい家庭生活」と「視点」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「仲のよい家族」→お互いを大切に思う→「家族の協力」 ・「居心地のよい家」→そうじをする、片付ける→「快適」「安全」 ・「地球にやさしい生活」→ゴミを減らす生活→「環境」 <p>事例のポイント②</p> <p>児童からどのような考えが出そうか、教師が予め想定しておくことで、話し合いの際の意図的・効果的な発問や支援が可能となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで出された「よりよい家庭生活」にするための「大切な視点」について、整理をする。 ・児童から出てこない視点については、教師から補足する。 ・「視点」については、見方・考え方として掲示カードにするとともにワークシートにも記載し、家庭科の学習で活用していくことができるようにする。 <p>◇日常生活における様々な問題について、家庭や地域の人々との協力、健康・快適・安全、生活文化の大切さ、持続可能な社会の構築等を視点として考え、解決に向けて工夫し取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>(ワークシート・行動観察)</p> <p>おおむね満足できる状況 (B)</p> <p>日常生活における様々な問題について、必要な視点から考え、解決に向けて工夫し取り組もうとする思いをワークシートに記入している。</p> <p>→前時及び本時の学習内容を振り返り、「よりよい家庭生活」に向けて取り組みたいことを共に考え、課題解決に向けた取組ができるよう励ます。</p>
10	5 学級全体で共有・整理し、本時のまとめをする。	
5	6 本時の学習を振り返り、よりよい家庭生活にしていることについて気付いたことや、よりよい家庭生活にするために工夫し、取り組んでいきたいと思うことを記入する。(振り返り)	

7 学習評価の具体例

<第1時 ワークシートの一部>

わくわく家庭科ワークシート No.①
「家庭科の学習を始めよう～ガイダンスシート～」

1 4年生までの自分を振り返り、生活の中で、自分ができるようになったことを思い出そう。
なぜ、できるようになったのかな？

<めあて>
自分の生活を振り返って、家庭生活や家族の関わりについて考え、これからの家庭科の学習につなげよう

2 自分のまわりで行われている「家庭の仕事」(衣生活・食生活・住生活・その他の生活)を思い出し、フセンに書いてみよう。

3 2の「家庭の仕事」を、下の図に分類してみよう。

自分でできる!

↑

実践していない ← | → 自分で実践している

↑

まだまだできない

4 分類したり、友達と話し合ったりして気付いたことを書いてみよう。

<自分のこと、家族の事、家庭の仕事などについて>

↑ 振り返り

↑ 振り返り

4 分類したり、友達と話し合ったりして気付いたことを書いてみよう。

<自分のこと、家族の事、家庭の仕事などについて>

1年生のころは何もできなかったけれど、今はおふろそうじをしています。家庭の仕事は、家族が協力して行っていることがわかりました。まだできないことが多いので、家庭科で色々なことを勉強して、家族のためにできることを増やしたいです。

【知識・技能】①

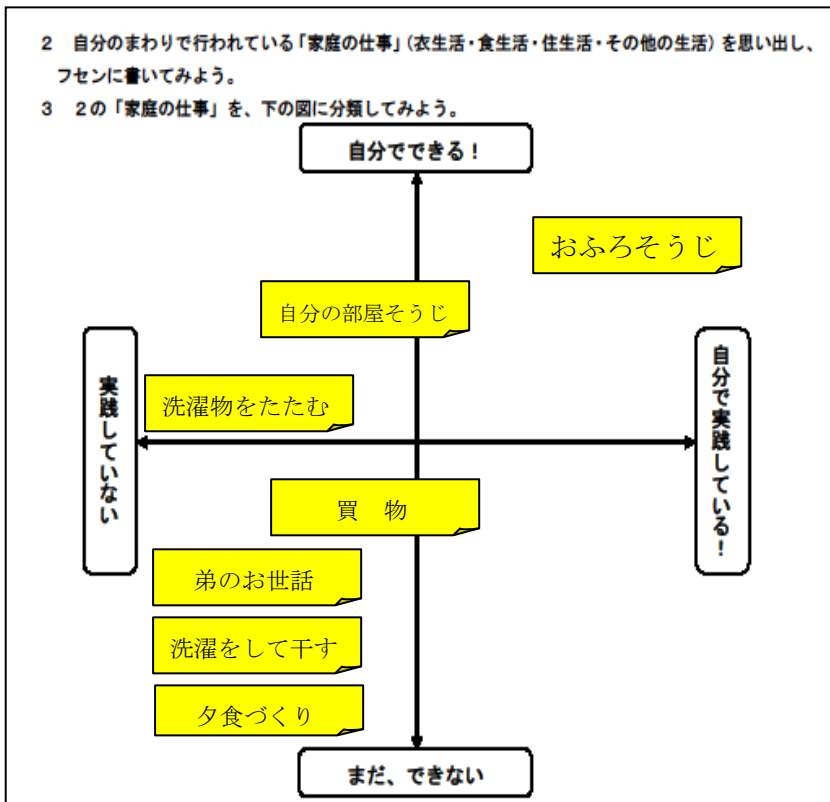
※「十分満足できる」状況 (A) と判断した児童の具体的な例

家庭の仕事は、家族が協力して行ってくれているおかげで、自分が毎日元気に過ごすことができていると気付きました。・・・家庭科で色々なことを勉強して、家族のために、できることを増やし、将来は家庭の仕事をしっかりとしてできる大人になりたいです。

家族に支えられていることや、将来を考え、先を見通した具体的な記述をしていることから、「おおむね満足できる」状況 (B) を上回る「十分満足できる」状況 (A) と判断した。

8 指導の実際

①思考ツールを活用し、話し合いを活性化させることで、気づきを促したり考えを深めたりする。



家庭の仕事を付箋に書き出し、思考ツールの座標軸に「自分でできる」「できない」「実践している」「実践していない」の視点で分類した。

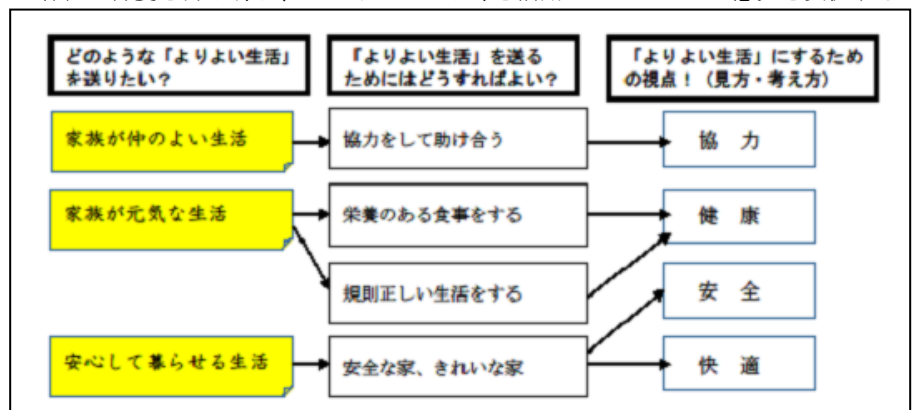
家庭の仕事が多くあることや、自分の成長、まだできないこと、できるけれども家族を頼っていることなどが可視化され、生活上の問題点を見いだしたり、今後に向けた意欲を高めたりすることに効果的である。

また、ペアで互いの思考ツールを見合いながら、互いに思ったことや気付いたことについて話し合うことで、学びが深まることが考えられる。

②「どのような家庭生活を送りたいか」について、児童が自ら考えとともに、生活の営みに係る見方・考え方を問題解決の視点として気付かせ、よりよい家庭生活の実現に向けた意欲を高められるようにする。

日常生活の問題は家族が解決してくれると思っている児童が、自ら「どのような家庭生活を送りたいか」について考えることにより、視点に気づき、それらが家庭科で学習する内容と関わっていることや、「よりよい生活の実現に向けて、様々な日常の問題を、視点をもとに解決することなどに気付くよう、学習活動を工夫している。

<各自の付箋を持ち寄り、ホワイトボード等を活用してグループで意見を交流する>



【2年間で学ぶこと】
A 家族・家庭生活

自分の成長	○○○
家族の1日生活	○○○
家族の大切さ	○○○
家庭の仕事	○○○
協力の大切さ	○○○
生活時間の工夫	○○○
自分の仕事	○○○
団らん大切さ	○○○
地域の人々との関わり	○○○

B 衣食住の生活

食事の役割	○○○
食事の大切さ	○○○
食事の仕方	○○○
材料	○○○
分量	○○○
調理の手順	○○○

③学期や学年の終わりなど学習の区切りの時期に学習の成果を振り返ることを通して、自分の成長への気づきが段階的に深まるようにする。

ガイダンスシートに、小学校の2年間の家庭科で学ぶ内容や、中学校家庭科で学ぶ内容を一覧にし、掲載する。小学校の内容については、「分かった→できるようになった→家庭で実践した」際に、一つずつ○を塗りつぶすとともに、学習内容の感想を書くなど、自分の成長が感じられるようにする。